

広報

No. 94

くまがた

昭和56年 4月15日

発行・編集 国見町企画課

おもしろ内容

阿津賀志山防塁が国史跡に…………… 2～3

昭和55年度予算のあらまし…………… 4～7

あの人この人…………… 9  
——樋口典雄さん——

公民館だより…………… 10～11



'81

4月

さっそうと登場 ——新一年生——

4月6日——町内4つの小学校と組合立大枝小学校で入学式が行われ、あわせて195人の新一年生が誕生した。

あいにく雨にたたられた一日だったが、大枝小学校では25名（内西大枝から10名）の新入生が東大枝と西大枝地区から元気いっぱい登校、新しい生活のスタートをきった。

# 阿津賀志山防塁が國史跡に

## 防塁では 全国で三番目



阿津賀志山全景

昨年三月、国の文化財保護審議会が国の史跡にすべしと答申した通称「二重堀」が、三月十四日付で阿津賀志山防塁として正式に指定を受けました。

これは、福岡県に二ある、元寇（げんこ）防塁と七世紀に新羅に対する防衛のために築かれた水城（みづき）跡に次いで防塁では全国で三番目という価値あるものです。

また、この二重堀は昭和十年に指定された石母田供養塔と並んで当時、二丁目の国史跡が誕生したことになります。

### 指定地域

今回指定された地域は、阿津賀志山の山頂から大字西大枝石田の当時の阿武隈川（現在の滑川）までの延長四キロメートルのうち、防塁が比較的元の形状をとどめている部分です。その面積は約二万四千平方メートルという広大なものです。

この広域にわたる地域の指定には、地元地権者の皆さんはもちろんのこと、関係者の方々の文化財保護に対する心からのご理解と協力の賜物で、町として厚くお礼申しあげるとともに今後もその保存管理などについてご協力をお願いいたします。

### 阿津賀志山防塁とは

この防塁は、文治五年（一一八九）源頼朝が全国の平定の前に残された奥羽掌握のため、平泉の藤

原泰衡（やすひら）追討の軍をおこした、いわゆる奥州合戦時に藤原軍の迎撃防衛線として築かれたものです。

この奥州合戦に頼朝が費やした時間は鎌倉出発から帰着まで二か月余りですが、両軍の決戦場となつたのは阿津賀志山の合戦です。

この合戦の有様は「吾妻鑑（あづまがみ）」に詳しく述べられており、泰衡方は「阿津賀志山と国見宿との中間にわかに口五丈の堀を構え遠隔川の流れを堰き入れ」とある二重堀が今回指定された防塁です。

昭和五十四年の福島県教育委員会の発掘調査によって、堀幅は、「吾妻鑑」にある「口五丈（約十五メートル）」にほぼ合致したV字形の薬研（やげん）堀であることや、全長にわたって二重の堀と三重の土塁が築かれていると思われていたのが一重堀の部分も存在したことなどが確認されました。

小林福島大教授の推定によればこの防塁工事と付近の防衛陣地構築を合せるるとなんと延べ四十万人の人力が動員され、それは信夫、伊達、刈田の三郡の課役対象の男子五千人が総動員で八十日間の突貫工事で完成させたものとされています。

このように、日本の歴史を画す

る奥州合戦時の主戦場となった阿津賀志山古戦場と壮大な土木工事をしのばせる防塁跡は明確に日本の歴史に位置づけられる文化遺産です。

### 今後の保存管理

今までは地元はもちろんのこと全国の識者によってこの防塁の保存が強く叫ばれてきたものですが、今回の指定は、すでにその多くの部分が失われているにせよ、ここ数年の間、町内でも多くの消えてしまった文化財と同じ運命をたどらずに済んだことに大きな意義があります。

しかし、指定を受けたからといって保存管理がすべて済んだということではなく、むしろこれから町があるいは町民がこの文化財を積極的に保存し、後世に引き継いでゆく方策を早急に立てねばなりません。そのため町では、福岡県その他の資料を集めるなど長期計画策定の準備を急いでいます。

ともあれ、文化財は、法隆寺金堂壁画焼失の例をみるまでもなく一度失われればもう二度ともどらぬものです。この防塁も八百年の歴史の重さがあります。ぜひ今のわれわれの手で守っていきたいものです。



改めて申すまでもないが、阿津賀志山防塁は、文治五年八月七日から十日にかけての阿津賀志山合戦に、平泉方が源頼朝の軍を防ぐために構築された防塁であり、阿

に足る事実が生じたことを素直に喜びたいと思う。

## 国史跡の指定におもっ

町文化財審議会会長 佐藤善次郎

十五万人を要した一大土木工事であると推定されている。今回の指定箇所は、阿津賀志山頂から四号国道までと、大木戸字高橋地内から西大枝字下二重堀地内まで、六十五筆、面積約二万三千八百平方メートルに及んでいる。地権者は九十八名で、これらの地権者各位のご理解とご協力に対するは、心から敬意を表し感謝するものである。

町では今回の指定を記念して、文化財の保護顕彰のため、講演会や、防塁にかかわる歴史展のごきもとの計画があるやにき展のこと。こうした一時的事業も必要であり、それなりの意義をもつものではあるが、そればかりでなく恒久的整備事業に、段階的に、即時取り組まねば、せつかくの国の指定が泣くであろう。特に行政面の善処を望むや切なるものがある。

今般三月十四日付官報をもって、津賀志山腹から、ほぼ滑川にそって、西大枝の当時の阿武隈川岸に達する約四キロの線の防塞(さい)である。いわゆる二重堀である。福大の小林先生は、この工事は、当時の幼稚な土木作業では、約二



防塁で国指定の史跡は、福岡県に二カ所あるのみで、一つは水城大堤で、大宰府を敵の侵入から防ぐためのものであり、一つは多々羅浜の、元軍を水際で迎撃するための、元寇(げんこう)防塁である。そして第三番目に、阿津賀志山防塁が指定されたわけであるが、その規模においても、その歴史的価値においても、前記二カ所に劣るものではないことは、史家の等しく認めるところである。むしろ指定が遅きに失った感がある。ただ違うのは、福岡県の二カ所は、まことによき環境が整備され保存



## 国見町の文化財

指定種別	別	部門	名称	説明
国	記念物	史跡	石母田供養塔	一家一山の碑、鎌倉時代
			阿津賀志山防塁	平安末期、阿津賀志山合戦の防塁(吾妻鏡)
県	有形文化財	建造物	佐藤家住宅	江戸中期本百姓住居
			岩淵遺跡	縄文中期複式炉を伴う住居(復元)
町	記念物	史跡	壱下古墳	古墳時代中期古墳(前方後円墳)
			八幡塚古墳	奈良時代古墳
		天然記念物	深山神社	樹齢500年以上
			大森腰掛松	樹齢200年以上(二代目)
有形文化財	彫刻	三常院仏像	阿弥陀・観音・勢至三体、平安末期頃	
		阿津賀志山画像碑群	三十八観音、八十八弘法大師画像群121基	



阿津賀志山合戦要図

6,000万円

## 予算きまる

昭和五十六年度町議会定例会が会期七日間の予定で、三月十日から開催されました。

今年的一般会計の予算は総需要の抑制的な明るさの少ない厳しい環境を反映したとはいえ、総額で十八億六千万円で、前年度に比べると二億五百万円の増、率にして二・四％の伸びとなりました。

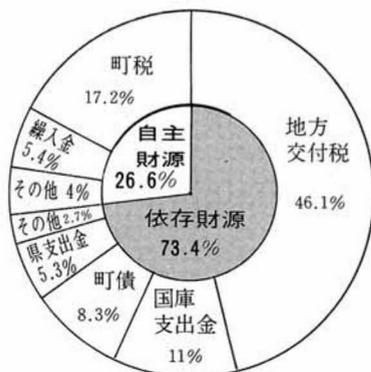
また特別会計のうち、国保会計については、他の健康保険加入などにより年ごとに減少の傾向にあります。一方にあり、全体の予算額は前年に比べると、七千万円の増となり、率にして一・七％の伸びとなりました。

## 歳入

昭和五十六年度の歳入予算の主要な科目の構成比を見てみますと、地方交付税が全体の四六・一％で最も多く、ついで町税が一七・二％、国庫支出金が一・一％、町債八・三％、繰入金が五・四％、県支出金が五・三％の順になっています。この六科目で九三・三％を占め、予算総額に対する依存財源の割合は七三・四％、自主財源の割合は二六・六％となっています。

また、歳入予算を自主財源と国庫依存財源では構成比をみてみますと、自主財源では前年度より三・二％高くなっており、これは、繰

歳入  
18億6,000万円



## 国税だより

### ◎確定申告が間違っていたときは

所得税の確定申告の受付は三月十六日で終了しましたが、申告書を提出した後で、計算や内容に間違いがあることに気付いた人はいませんか。

確定申告が間違っていたときは、すぐに、「修正申告」や「更正」の請求をして正しい金額に訂正しましょう。

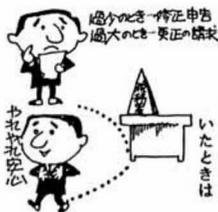
なお、詳しくは最寄の税務署や税務相談室(分室)へご相談ください。

確定申告を付けて、結婚記念日とします。

その心は………間違がうこともあれば、忘れることもあるでしょう。

修正申告、更正の請求、期限後申告は早目にどうぞ!!

◎確定申告が間違っていたときは



# 一般会計 18億

## 昭和56年度

### 歳 出



今年の歳出の割合は上表のとおりになっています。伸び率の多い費目からみてみますと、教育費、農林水産業費、総務費などが著しく伸びています。これは、教育費が藤田小学校改革公債費は、藤田、小坂両小学校改革による利子補給分、農林水産業費は、落葉果樹高効率生産団地育成事業補助金を主として、各種補助事業の増となったためです。また、総務費の増については、人件費、集会所建設による増加です。

### 歳 出

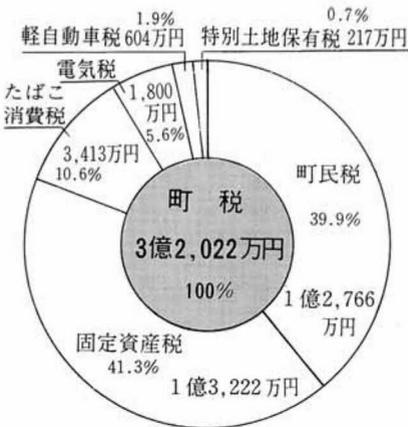
**自主財源とは**  
町自身が収入額を見積り、賦課徴収するなど、自主的に確保できる収入で、町税、分担金及び負担金、財産収入、使用料及び手数料、繰入金などです。

**依存財源とは**  
国から定められた額を交付されたり、割当てられる収入で地方譲与税、地方交付税、国(県)支出金、町債などです。

### 自主財源とは

入金が前年度より六千万円増となっているためです。町民の皆さんから納めていたたく予定の町税は三億二千二十一万円で、収入全体の約六分の一強であり、依然として依存財源に頼らざるを得ない現状にあります。以下歳入区分は別表のとおりとなっております。

### 町税の内訳



### 愛鳥週間

五月十日から



徳江河原で

### 白鳥、まもなく北国へ

#### 徳江河原で遊ぶ四〇羽

雪どけの水かさの増した阿武隈川に、白鳥が渡りを忘れたように遊んでいます。

ここは、まだ人に知られていない白鳥のたまり場、徳江河原です。昨年の秋、約四十羽が飛来して以来、付近のこもりの鶯の音、すぐ下流の橋梁工事の騒音にもめげずに住みつき、無心にえさをついばんでいました。

足もとの枯草のなかからは、あさ黄色の若芽にまじって、つくしんぼうが顔を出しています。

もう春、白鳥が北国へ帰るのも間近です。来年もそろって元気な姿を見せてくださいな。

## 農林水産業費



1億8,257万円

昨年度から導入いたしました農山漁村振興特別対策事業も二年目を迎え大木戸集会所の建設と、野菜銘柄産地育成、落葉果樹高能率生産集団育成など、農業振興のために努力しています。前年度に比べて1,525万円の伸び、率にして9.1%の増となっています。

・水田総合利用対策事業費	234万円
・水田利用再編対策推進費	704万円
・災害資金利子補給金	456万円
・農業団体育成活動補助金	225万円
・青果物価格補賞出資金	306万円
・農山漁村振興特別対策事業補助金	654万円
・野菜銘柄産地育成開発事業補助金	388万円
・落葉果樹高能率生産集団育成事業補助金	2,000万円
・低位生産園再開事業補助金	415万円
・転作促進特別対策事業補助金	2,333万円
・町営牧場整備事業補助金	137万円
・町単土地改良事業費	404万円
・伊達地区広域農道整備促進協議会負担金	1,421万円
・伊達西部土地改良区補助金	1,348万円
・西根堰土地改良区補助金	178万円
・土地改良事業長期債償還助成金	1,317万円
・桑折町国見町有北山組合負担金	148万円

## 土木費



1億5,138万円

道路は私たち生活の基盤となるものです。住みよい環境づくり、町づくりに、道路網の整備は欠かせません。今年は町単独事業で町道の拡幅改良6路線と、補助事業の舗装工事1路線がおもなものです。

・土木管理費	3,344万円
・道路橋梁費	1,767万円
・道路新設改良費	7,870万円
・都市計画費	1,536万円
・住宅費	172万円

## 民生費



1億9,838万円

この費目は、お年寄りや子供、身障者など、社会的に弱い立場にある人達の福祉を進める経費です。民生委員に要する費用や老人医療費、季節保育所の経費がおもなものです。

・重度心身障害者医療費補助金	537万円
・民生委員調査委託料	127万円
・国民年金徴収報償金	193万円
・老人家庭奉仕員委託料	144万円
・老人福祉費	404万円
・養護老人ホーム組合負担金	273万円
・老人医療費	7,090万円
・季節保育所に要する経費	104万円
・乳児医療費扶助費	164万円
・児童福祉施設費	4,077万円
・児童手当	2,319万円

## 衛生費



1億9,808万円

町民の健康を守るため、成人病検診をはじめ、いろいろの予防対策や清潔で美しい町づくりをするための費用です。おもなものとして、公立病院負担金、伊達地方衛生処理組合負担金などがあります。

・循環器検診事業	211万円
・成人病検診事業	212万円
・公立藤田病院組合負担金	9,539万円
・三町火葬場協議会負担金	300万円
・健康づくり事業	117万円
・結核検診事業	191万円
・各種予防対策事業	249万円
・ごみ収集民間委託料	600万円
・伊達衛生処理組合負担金	4,794万円



## 今月のこよみ

4月 卯月 (うづき)	5月 五月 (さつき)
○18日・発明の日	○1日・メーデー
○20日・穀雨・通信記念日	○2日・八十八夜
○30日・図書館記念日	○3日・憲法記念日
	○5日・子どもの日
	○10日・母の日・愛鳥週間



## 山火事注意

## 総務費

2億3,684万円

この経費には、総務管理費、徴税費、戸籍住民基本台帳費、選挙費、統計調査費などがあります。

- ・特別職と一般職の人員費……………1億 2,326万円
- ・集会施設建設工事請負費……………900万円
- ・交通安全対策費……………336万円
- ・税務事務計算センター委託料……………269万円
- ・所得税の前納及完納報償金……………608万円
- ・農業委員会委員選挙執行費……………81万円
- ・統計調査費……………33万円



## 教育費

5億7,262万円

教育費は、学校教育費だけでなく、社会教育を含めた生涯教育を推進する幅広い範囲をもっています。今年度は前年比23.9%の増となっています。これは藤田小学校の改築費が歳出総額の半分以上を占め、そのほかに、給食センター負担金、公民館活動費などが含まれています。

- ・藤田小学校改築事業費……………3億 4,650万円
- ・各小学校管理経費……………2,326万円
- ・県北中学校管理経費……………949万円
- ・各小学校教育振興経費……………737万円
- ・県北中学校教育振興経費……………706万円
- ・幼稚園管理運営費……………504万円
- ・町民学校などの開設経費……………125万円
- ・阿津賀志山防塁跡買上及び管理経費……………1,080万円
- ・町民スポーツ振興に要する経費……………399万円
- ・伊達、桑折、国見町学校給食センター負担金……………3,215万円
- ・大枝小学校組合分担金……………450万円



## 特別会計

### 特別会計

(千円)

会計名	本年度予算額	前年度予算額	比 較
国民健康保険	515,000	445,000	70,000
貝田簡易水道	5,953	8,551	△ 2,598
育 英	5,288	2,771	2,517
入山財産区	4,910	5,005	△ 95
大木戸財産区	185	152	33
藤田財産区	500	711	△ 211
計	531,836	462,190	69,646

### 水道事業会計

(千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	
収益的	収入	90,849	90,727	122
	支出	93,610	83,145	10,465
資本的	収入	103,700	113,910	△10,210
	支出	117,138	131,213	△14,075

## 消防費

7,481万円

町民の生命財産を守る消防。

今年も常備消防、町消防団を中心に消防施設の整備を図り、防火体制の強化充実をすすめます。

- ・伊達地方消防組合負担金……………5,650万円
- ・非常備消防費……………532万円
- ・消防施設費……………260万円



## 善意の窓

町社会福祉協議会

○佐藤英治さん(西大枝字西)より 1万 5,150円 亡父平治殿のご遺志  
○町婦人会連協代表 佐藤マチヨさん、赤坂妙子さん、佐藤マサ子さん、  
阿部ノブさん、佐藤ミキさんより 映画会の益金 2万円  
小坂小学校

○柱時計 日本敬神崇祖自修団一同・日本天皇室奉賛会桑折道場小坂方部様  
○柱時計 仲野周蔵様○テント 古溝忠一様○校長机、椅子、戸欄 朽木哲也様  
○柱時計 柴田辰造様○卓球台 後藤功様○置時計 由井順郎様  
○横断旗 小坂交通安全母の会様 県北中 ○名人スリッパ 高橋芳男様  
○トランペット 志村建設様○金5万円也 昭和31年卒業生一同様

## 心配ごと相談日

場所：役場二階相談室(東側入口よりお入り下さい)

時間：9時～12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい、秘密は絶対に守ります。

〔相談員〕

- 4月25日(土)吉田 忠 吉, 吉田 とし子
- 5月6日(水)吉田 正 雄, 牧 野 容子
- 5月15日(金)阿部 俊 恒, 梁 瀬 貞子

# 奥山収入役が退任

—三月三十一日—



五十三年六月の宮城県沖地震など、逼迫した地方財政のなかにあつては、その豊かな知識と経験をもつて困難な事態に対処してきまされた。

このたび任期半ばで退任されることは非常に残念なことでありますが、ご自愛專一に、好きな読書や趣味の写真などに、充実した毎日をお過ごしいただきたく思います。

奥山さんは昭和四十二年第二代会員町収入役として迎えられて以来、四期十四年にわたって、町の財政に携つて来られました。特に四十八年の石油ショック、

## 佐藤さんに総理大臣賞

### 国勢調査に八回従事

このたび、西大枝字北谷地一〇の佐藤長寿さんが、昨年行われた



国勢調査での優秀な調査手腕を認められ内閣総理大臣表彰を受けられました。

佐藤さんは、終戦後間もない昭和二十二年、初めて国勢調査に従事して以来昨年までで連続八回というベテラン中のベテランです。

統計調査の必要度は高まる一方、プライバシーや調査項目の細分化などで調査への協力がむずかしくなつてきています。そのため各種の統計の実施は佐藤さんのように地域の信頼を得た調査員の努力に負うところが大きいといえます。今後ともよろしくお願ひします。

## 町職員の人事異動

四月一日付(一)は旧任  
ご苦労さまでした。



原田さん



古内さん

よろしくお願ひします。

### 退職

▽原田サタ(小坂小調理員)

### 新採用

古内君恵 藤田幼教諭

### 異動

▽産業課長(公民館長) 吉田貞造

▽公民館長(産業課長) 大内正美

▽企画課広報広聴係長(建設課管理係長) 原田金蔵▽建設課管理係長(公民館係長) 佐久間靖明▽住民課福祉係長(総務課付県出向) 須田善治▽公民館係長(産業課係長) 小池芳男▽総務課付県出向(住民課福祉係長) 吉田俊江▽税務課課長(同徴収係) 佐藤幸子▽森江野小事務(総務課庶務係) 八巻美枝子▽総務課庶務係

(企画課広報広聴係) 黒田アヤ子  
▽税務課徴収係(小坂小事務) 菊地軽子▽小坂小事務(森江野小事務) 中山ミエ子▽小坂小調理員(藤田小調理員) 後藤クラヨ▽給食センター調理員(藤田小調理員) 大沼ミツ

## 教職員の人事異動

四月一日付(一)は旧任  
転出

▽福島市立笹谷小校長(藤田小校長) 小川謙▽桑折町立半田醸芳小(藤田小) 佐久間裕▽梁川町立梁川小養護教諭(藤田小) 石川清美

▽福島市立岡山小栄養技師(藤田小) 杉崎一江▽梁川小(小坂小) 大泉昭治▽保原町立柱沢小教頭(森江野小教頭) 阿部伸蔵▽伊達町立東小(森江野小) 五十嵐悦雄▽桑折町立醸芳小(森江野小) 根本光子▽福島市立湯野小学校長(大木戸小学校) 橋本隆夫▽伊達町立伊達中(県北中) 阿部義男▽福島市立信陵中(県北中) 関口正充良▽桑折町立醸芳中(県北中) 斎藤紀文

▽いわき市立小名浜第二中(県北中) 渡辺清隆▽保原町立保原中(県北中) 田中イウ子▽福島市立福島第三中(県北中) 高野佳子▽いわき市立錦中(県北中) 山口敦子

転入

▽藤田小学校長(半田醸芳小学校)

六戸成男▽藤田小(桑折町立伊達崎小) 畑徳祐▽藤田小養護助教諭(新採用) 大宮千賀子▽藤田小(新採用) 高橋▽小坂小(保原町立保原小) 門脇勇▽藤田小教頭(岩代町立小浜小) 伊藤修▽藤田小(川俣町立山木屋小) 田辺節子▽藤田小(新採用) 芝田俊久▽大木戸小学校(浪江町立津島中校長) 山上廣▽県北中(梁川町立梁川中) 池田光雄▽県北中(靈山町立靈山中) 横山充▽県北中(福島市立養護学校) 荒哲也▽県北中(川俣町立川俣中) 飯沼保良▽県北中(梁川小) 高橋美枝▽県北中(郡山市立師部中) 黒澤美智子▽県北中(新採用) 国分淑子

## 早坂巡査が赴任

### 小坂・山崎を担当



藤田駐在所に四月から赴任した早坂孝志巡査は、福島市出身で二十五歳の独身の好青年。スマートフォンを外見の一方、桑折警察署警備隊からの転出で剣道三段の猛者(もさ)。頼もしい限りです。地区の皆さんよろしくお願ひします。



若者のポケットは、中味は貧しくとも大きくふらふらもだけの容量を持つ。レクリエーション活動を通じいろんな人たちの交流でその中を一杯にしようとしている団体がある。その名も「ぼけっと・サークル」。

会員は九名と小さな会だが、サークル活動の活発さでは他に負けない自負がある。公民館講座の青年学級生の〇日七名が、学級生時代に覚えたレクリエーションをもっと有効に活用し、町民と交流をはかろうと一昨年結成したばかりけん引車である会長は今二代目の樋口さんが引き受けて、活力ある行動を推進している。

「レクリエーションは、人間の社会的関係が複雑化している現代にあって息抜きのできる大切なもの。心の交流には最適です」。

# あらくんのく

(44)

## 「ぼけっと・サークル」の会長 樋口典雄さん

会の結成後の一年間はゲームやレクダンス（音楽に合わせて自分たちで振り付をする）など基本的な技術習得に時間をかけた。翌年の昭和五十四年、その成果を大木戸小学校の二、四年生を対象とした「わんぱく広場」で開花させた。これは「学校では味わえない遊びの楽しさを子供たちに知ってもらおう」と学校と父兄の承諾を得て実施したものだ。ゲームや歌、紙しばいあるいは工作、竹馬づくりなど内容は変化と変遷が一杯である。七月から十一月までの毎月一回、日曜が教室開催の日。場所は大木戸小前の集会所を借用した。「常時十人以上の出席が多い時は

三十人くらいも。いつも開始時間前に集っていた」という。

「子供たちは本能的に遊びの楽しさがわかるものですね。この企画の手ごたえは十分でした」と満足気。「わんぱく広場」の主催者である会員もわんぱく時代に帰っていつしよになつて遊んだという感じですよ。遊んでやるとか教えてやるとかでは交流は生まれません。子供も会員も同じ仲間の立場で触れ合うことが、本場のレクリエーションの目的」と語る。その意味ではこの「わんぱく広場」は大成功に違いない。子供たちも竹馬を自分の手で作ることから乗りこなすまで経験したところなど、大きな喜びと自信を得たことだろう。

「経費は一切会費から充当しました。竹馬の材料の竹は農家にお願してもらつてくるとか費用の工面に苦勞はあつたが、これも会員のファイトのうち」と割り切つ

ている。

昭和五十五年度は、公民館主催の事業「ガキ大将教室」の指導を依頼された。この教室の内容は「わんぱく教室」と同じもので、実績がかわれての講師である。「企画から実施まで一切任されたのでやりがいがありました。そのため、時間がなく、会独自の活動ができなかった」という。その他、町の内外からもその活動のユニークさで指導依頼も多い。しかし、「会員自体の技術習得が手薄になつた感もある。もっと足下を固めねば」という反省もある。

「なんといつても人員不足で、やつてみたいことがあつても手が回らなくて……」。小さなサークルにつきものの悩みである。「レクリエーションに興味のある方なら誰でも大歓迎です。既成のレールに乗ったサークル活動では味わえない新鮮さとやりがいを保証します」。

これからの抱負は「もっと対象を広く、子供たちから青年、老人まで広げたい。だが、「一歩一歩欲ばらずにやってみよう」とも。パレーポールでできた体と行動力は、ポケットでいたる重くなくても大丈夫とみた。

昭和三十年生まれ 森山孝雄 12

5月4日～5日

日本画・書道・刻字・写真

公民館で展示会

5月4日(休日)、5日(子どもの日)に公民館で、日本画・書道・刻字・カメラ各クラブの合同展示会を開きます。

日ごろの成果を見ていただき、勉強の励みとしたい考えです。どうかみなさん、ご家族連れで、またはお友達とぜひ公民館へお立ち寄りください。お待ちしております。





国見町公民館  
 電話 2676  
 24156



3月の利用者

公民館 2,994名  
 体育館 2,294名

町職員の仕事異動が四月一日付で発令されました。今回の異動で、吉田公民館長と佐久間係長が異動し、大内正美館長と小池芳男新係長でスタートいたしました。豊かな経験と幅広い知識をもって意欲十分です。みなさん、よろしくお願ひします。

社会情勢に対応する公民館

就任にあたって

公民館長 大内正美



たすとともに改めて決意を新たにしているところでございます。町民の皆様方をはじめ、先輩の方々のご指導をいただき、私自身も大いに勉強に励み、この職責を全うしたいと存じますので温かいご指導ご鞭撻を心からお願ひいたしますと存じます。

このたびの町職員の仕事異動におきまして、はからずも私が産業課長から公民館長を拝命いたしました。その責務の重大さを痛感しております不安をいだきながらも、初心にかえって一生懸命努力精進い

公民館は社会教育、生涯教育の場といわれており、近年益々重要視され予算、組織も、充実され進展してきております。それとともに各種の情報も氾濫し要請等も多く寄せられている現状であります。公民館は、この新しい社会情勢に対応し、町民の規律とモラルの向

上をはかるための活動を基本的な目標として仲間同志の切磋琢磨を通じて、お互いに研修する自主学習の場でもありますので、今後も乳幼児から老人までの広い分野を担う社会教育活動の目的達成のためと、豊かな町づくりのため職員一体となつて鋭意努力してまいり、皆さんのご期待に応えて行きたいと思つておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

新人です

よろしくお願ひします



小池係長

今春の定期異動により、公民館係長を命ぜられました。なにぶんしんまいの公民館係長で十分職責をはたせるかどうかはなほ疑問ですが、私なりにいっしょうけんめいやるつもりですから、よろしくお願ひします。

昭和56年度スポーツ行事一覽

期日	行 事 名	会 場
56年 4月26日	ソフトボール審判認定講習会	公民館
6月28日	国見・桑折マラソン大会	国見町会場
8月9日	少年ソフトボール大会	町民運動場
8月22日、23日	鳥海山登山	山形県
9月13日	高校生球技大会	県北中学校
9月27日	国見・桑折青少年健全育成剣道大会	町民体育館
10月10日	婦人・高齢者運動大会	公民館前広場
11月1日	町内一周駅伝競走大会	町内一周
12月27日	スキー指導者講習会	栗子スキー場
57年 1月31日	スキー	蔵王スキー場
2月6日、13日、27日	卓球教室	町民体育館
3月5日、12日、19日	バトミントン教室	町民体育館

### 昭和五十六年度 学級生を募集いたします

公民館では、昭和五十六年度の次の学級生を募集しております。それぞれ年間を通して、学習、講義、旅行などが計画されており、生活を充実させるため、みなさんお誘い合せの上参加されては、いかがでしょうか。

### 青年学級

- ◎定員 四十名
- ◎メ切 四月三十日(木)
- ◎町内在住の二十三歳までの青年男女

(町内勤務者、学生も可)



青年学級パーティー

### 明治学級

- ◎対象者 町内に居住する六十五歳以上の方
- ◎申込み 入級希望者は、各地区の役員へ



明治学級の講義

### 中央婦人学級

- ◎対象 町内に住んでいる婦人
- ◎募集人員 二十名
- ◎日中コース 10時～11時30分
- ◎夜間コース (7時～9時)
- ◎メ切 四月三十日(木)まで

### 壮年学級

- ◎町内に住む四十歳以上六十歳までの成人男子の方の学級生を募集しております。



洋服デザイン実技

### 乳幼児学級

- ◎対象 三歳児教育に関心のある方
- ◎開講 四月三十日

### 若人の翼

昭和五十六年度募集  
福島県では青年海外派遣「若人

の翼」の参加者を募集しています。  
短期派遣 十五日間  
十月十七日～十月三十一日まで  
長期派遣 二十五日間  
十月十七日～十一月十日まで

### 新着図書 あんない



- ◎阿寒にたつ 渡辺 淳一
- ◎和泉式部日記 野村胡堂 校注
- ◎思い出トランプ 向田 邦子

- ◎生みすてられた子供たち 上、下 シーファー
- ◎ウルトラおじさん頑張る 山川 静夫
- ◎女たちの海峽 平沼 弓枝
- ◎隠し剣、孤影抄 藤沢 周平
- ◎黒の十字架 森村 誠一
- ◎聖夜に猫一匹 山本 多津
- ◎修 羅 花柳 幻舟
- ◎その死を暴く女 勝田 梓
- ◎大人の会話 青木 雨彦
- ◎死体が二つ 佐野 洋
- ◎ライフとマジユエーション 二ザーミ
- ◎チャタレー夫人の原像 ロベルト・ルークカス

### あつがし俳句会

昭和五十六年三月二十八日

- \*春一番桜梢を揺さぶりぬ 奥山 甲二
- \*村うらら彼方に畦の焼く煙 熊田 一陽
- \*牡丹の芽会長さんは物申す 野村たかし
- \*春めくや生活むきなど問はれ居り 須田 泰山
- \*夕霞雪の吾妻嶺浮かしけり 萩原 吐絹
- \*グムとなる宿場の梅の咲きにけり 小野等萬水
- \*山脈の晴れて真近や草青む 増田三果樹
- \*籠り解ぬけず老いゆく春炬燵 阿部しげを
- \*念願の新居ゆたかに春陽かな 渋谷 良一
- \*山脈を包みて深しおぼろかな 角田 昭子
- \*望郷や恩師の歌集あたたかし 菅野かね子
- \*胡麻の香のたつはなづなのあえらし 鈴木 幸子
- \*お彼岸や無縁墓地にも赤い花 原田 和喜

# 戸籍の窓口

(3月受付分)

出生おめでとうございます

子の名	保 護 者	部 落	北 田
教幸	鈴木	大前	東 橋
欣也	鴨重	内 谷	南 館
広 孝	坂初	板 町	谷 北
大 介	藤 夫	宮 小	南 坂
結 香	安孫 和	耕 宗	山 北
奈 子	佐藤 子	源 北	部 南
ひ 子	牧野 幸	北 宮	坂 東
千 壽	田井 砂	小 石	寺 九
亜 希	渡 鈴	光 第	母 田
裕 志	吉 藤	母 明	町 南
理 恵	遠 藤	小 石	南 坂
美 修	寶 機	光 第	東 寺

結婚おめでとうございます

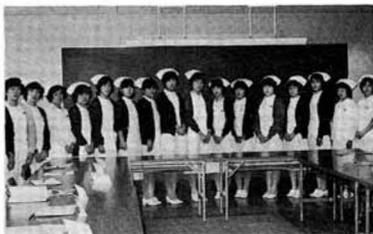
氏 名	部 落	(前住所)
羽根 田	大 内	南 西
赤 坂	第 二	市 田
佐 久 多	福 島	中 東
本 齋	泉 内	谷 島
武 野	福 源	山 北
菅 秋	源 山	北
豊 田	源 山	北
田 口	源 山	北

おくやみ申し上げます

氏 名	年 齢	部 落
鴨 田	87	内 谷 西
居 居	81	第 三 町
佐 間	82	錦 町
五十 圭	53	錦 町
嵐 春		

# 希望を胸に

## — 新看護婦さん —



新看護婦さんたち

四月は、春風にのった希望で胸を大きくふくらませて社会に巣立ってゆく新社会人の季節である。公立藤田総合病院では、二十一名の看護婦さんと三名の事務員の方が新しく採用となった。一日から六日まで午後の半日は一同に会し一般的な病院業務のガイダンスを受け、その後は専門的な研修が待っている。そのひとり、外科系に配属された鈴木貞子さん(川内)は「採用されて本当にうれしい。充実した毎日です。頼りにされる看護婦になりたい」と目をきらきら輝かせて語ってくれた。

# 公民館報「く に み」の復刻版を刊行

— 開けば思い出がいっぱい —  
現在の広報「く に み」が発行される以前は公民館報「く に み」が町の広報紙として皆様に親しまれてきました。

今回企画課では、その復刻版を発刊しますのでぜひ一冊家庭にお備え下さい。

- ◆価格 2,700円
- ◆内容 昭和30~48年まで (No.1~187号) 436ページ B5版



- ◆申込み 申込み書は、部落長さんを通じて回収します。
- ◆配本 6月上旬
- ◆集金 配本と同時にを行います。

限定 500部出版ですのでお早めに申し込みください。

# 人口と世帯

4.1現在 (前月比) 3月中のうごき

人 口	男 5,878人 (+12)	転 入	79
	女 6,236人 (+11)	転 出	66
	計12,114人 (+23)	出 生	14
世帯数 2,817戸 (+6)	死 亡	4	

○今、花香る梅が散るや、匂う桜の春爛漫(らんまん)の時。やがて桃(もも)りんごと続き国見(くにみ)ならでの景観が展開する。

○「広報く に み」も一部紙面を新たにし、せめて、梅香の一部だけがすがしきを出したいと考えています。今後とも、ご指導、ご協力をお願いいたします。(下)

# 編集日記

○「四月は残酷極まる月だ」で始まる有名な詩があるが、広報担当者として、今年の四月はまさにこの感がある。

○町の人事異動で七年間広報を担当してきた黒田主事が総務課に転出した。女性特有のやわらかさを紙面に出し、親しまれる広報づくりに努力してきたベテランに去られたことは当面の痛手である。が、建設課から新しく配属された原田係長は博識とユーモアに富んだキャラクターの持主なので、そのよさが広報づくりに生かされるだろう。

**不用品コーナー**  
お手元にある不用品を活用しませんか。  
お譲りしたい方、または欲しい方は企画課広報広聴係までお知らせ。(022-11-04175)  
資源を有効に